

『復興特別所得税』についてのご案内

『東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(平成23年法律第117号)』の施行に伴い、**2013年1月1日から2037年12月31日までの25年間に生じる所得には、所得税の2.1%が『復興特別所得税』として追加課税されます。**株式等の配当金も対象となり、所得税率に追加されて源泉徴収されますのでご案内いたします。

※個人の株主様で発行済株式総数等の3%以上の株式等を所有される場合の税率は、右記と異なります。

※右記税率は源泉徴収が行われる場合の税率です。配当等をお受け取りになる方が法人の場合には住民税は課税されません。

※その他詳細につきましては、所轄の税務署、税理士等にお問い合わせください。

※本ご案内は2013年1月時点の情報を基に作成しております。

■ 上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率

| | | 2013年 | 2014年～2037年 | 2038年～ |
|--------------|-----|-------------------|-------------|--------|
| 上場株式等の配当等の税率 | 所得税 | 7.147% | 15.315% | 15% |
| | 住民税 | 3% | 5% | 5% |
| 合計 | | 10.147% 【軽減税率】 | 20.315% | 20% |

■ 所得税率の計算方法

2013年1月～2013年12月: $7\% + 7\% \times 2.1\% = 7.147\%$

2014年1月～2037年12月: $15\% + 15\% \times 2.1\% = 15.315\%$

所得税率 復興特別所得税率

株主メモ

| | |
|-------------------------|---|
| 事業年度 | 毎年7月1日から翌年6月30日まで |
| 定時株主総会 | 毎年9月 |
| 定時株主総会基準日 | 6月30日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。 |
| 剰余金の配当の基準日 | 6月30日 及び中間配当金の支払を行う場合は12月31日といたします。 |
| 株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関 | 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) |
| 公告方法 | 電子公告により行います。ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむをえない事由が生じたときは、官報に掲載する方法により行います。 |
| 公告掲載 URL | http://www.donki.com/b/ir/ |

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で受け付けています。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社ではIR情報をホームページにて開示しています。ぜひご利用ください。

IR情報ホームページ

<http://www.donkigroup.jp/ir/>



株式会社

ドン・キホーテ

〒153-0042 東京都目黒区青葉台2-19-10
TEL.03-5725-7532 FAX.03-5725-7322
<http://www.donkigroup.jp/>

株主・投資家の皆さまへ 第33期 中間株主通信

2012年7月1日～2012年12月31日

株式会社

ドン・キホーテ

すべては
お客さまのために
私たちドン・キホーテグループの決意です

株主・投資家の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに株主の皆さまへのご挨拶と、2013年6月期第2四半期累計期間（2012年7月1日～12月31日）の業績に関するご報告をいたします。



代表取締役会長 兼
最高経営責任者 (CEO)
安田 隆夫

代表取締役社長 兼
最高執行責任者 (COO)
成沢 潤治

ご挨拶

当第2四半期累計期間における日本経済は、輸入環境の改善や経済対策の効果などによって景気回復へ向かうことが期待されますが、依然として先行き不透明な状況にあります。小売業界においては、雇用情勢や所得環境は底堅く推移しているものの、業界の垣根を越えた低価格競争の激化など、厳しい状況が続いており、節約志向に対しても迅速で柔軟に対応する体制がますます重要になっています。

こうした中、ドン・キホーテグループは「顧客最優先主義」を実践する業態創造企業としてニーズに合わせた進化を続けながら、積極的な販売提案によってお客さまに「感激」していただける店舗づくりを目指してきました。その結果、当第2四半期累計期間も増収増益を達成することができました。これもひとえに株主の皆さまのご支援のおかげと、心より御礼申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後も引き続き変わらぬご支援をお願い申し上げます。

第2四半期決算ハイライト

| | | | |
|--------|---------|-------------|---------|
| 売上高 | 2,896億円 | 総資産 | 3,945億円 |
| 営業利益 | 187億円 | 純資産 | 1,557億円 |
| 四半期純利益 | 118億円 | 1株当たり四半期純利益 | 152.64円 |



当第2四半期累計期間の取り組みと業績、配当について教えてください。

多様化・高度化する顧客ニーズに迅速に対応し、増収増益を達成しました。



ドン・キホーテグループは、「顧客最優先主義」の企業原理のもと、当第2四半期も収益の拡大に努めてまいりました。グループ中核の株式会社ドン・キホーテは、多様化・高度化する顧客ニーズに迅速に対応しながらセールスマックスを改善したことが奏功し、売上総利益率が0.4ポイント増加したうえ、新規出店に伴う諸費用や光熱費の負担増などを吸収し、増益となりました。

グループ企業の株式会社長崎屋、ドイト株式会社、Don Quijote (USA) CO., Ltd. は、一部の販売状況で苦戦を強いられたものの、攻守取り交ぜた営業力を駆使して、いずれも増益となりました。

また、商品施策においては、日用雑貨品や食料品などの

コモディティ系商品で積極的な販売提案や価格施策を進めた結果、お客さまの信頼と支持を強固なものにしました。一方、時計・ファッション用品やアミューズメント系商品などでお客さまの買い物脳を刺激し、堅実な販売動向で推移することができました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高2,896億円（前年同期比4.6%増）、営業利益187億円（同8.5%増）、経常利益191億円（同16.0%増）、四半期純利益118億円（同1.3%減）となりました。

なお、中間配当は1株当たり10円とさせていただきました。今後も継続的な成長と安定を目指し、株主の皆さまに対する安定的な利益還元にも努めてまいります。

Q

店舗開発の進捗についてお聞かせください。

「ソリューション出店」を中心に、
地方展開や店舗大型化を推進しています。

A



ドン・キホーテグループは、地方都市店舗の成長率の高さや高い収益力を継続させている点に着目し、ここ2年ほど「ソリューション出店」をはじめとして、地方展開や店舗の大型化を推進しています。「ソリューション出店」とは、当社グループの集客力に魅力を感じたショッピングセンター

などの複合商業施設からの要請に応じて、テナント出店する形態のことです。居抜きの空きテナントに出店するため、迅速かつローコストで店舗を開設することができるうえに、当社グループが出店することで他テナントの活性化にも貢献し

ています。こうした相乗効果によって、施設の再生、ひいては地域や都市の再生にも寄与していければと考えています。

また、当社グループは地方展開に合わせて、店舗の大型化を進めています。新規出店した店舗数は9店舗で、前年同期比1店舗増となりましたが、売場面積は2.1倍に拡大しました。

地方展開や店舗大型化の中心となっている業態が、売場面積3,000～5,000㎡、取り扱いアイテム数4～6万点の「New MEGA ドン・キホーテ」です。New MEGA ドン・キホーテは従来の「MEGAドン・キホーテ（売場面積8,000～10,000㎡、取り扱いアイテム数6～10万点）」と異なり、生鮮食品やミセスアパレルを扱っていない商品構成が特徴の業態で、2011年4月の神戸本店を皮切りに、当第2四半期累計期間末現在で13店舗体制となり、さらにネットワークを拡大する予定です。



MEGA ドン・キホーテ上越インター店



ドン・キホーテ守口大日店

Q

景気回復が見込まれている点については、どのようにお考えですか。

衝動買いの店としての本領発揮が期待でき、
収益力は一層高まると見込んでいます。

A

ドン・キホーテグループは1990年代から続くデフレの時代に成長を遂げてまいりました。デフレを逆手にとって大きくなったと思われる方が多いかもしれませんが、「小売業は変化対応業である」との認識のもと、逆風に合わせて常に市場の変化を読み取り、店舗のスタッフ一人ひとりが一生懸命その対応策に取り組んできたからこそこの成長なのです。

景気が回復すれば、衝動買いの店としての本領発揮が期待でき、当社グループにとっても大きな追い風となると考えています。今までどおり、お客さまのニーズを先取りした品揃え、サービスの提供を行い、利益率の高いプライベートブ

ランド商品のラインナップの拡充などに取り組み、収益力は一層高まると見込んでいます。

これからも時代の流れを的確に読み取り、お客さまの心をつかむ売場づくりに努めてまいります。



Q

中長期的な重点戦略についてお聞かせください。

30期連続増収増益達成を目指し、
さらなる「企業価値向上」と「株主価値拡大」に邁進してまいります。

A

当期については、24期連続増収増益を達成し最高益更新を狙います。そのために、下半期は事業効率のさらなる改善を進め、お客さま支持率の高い店舗運営を促進するほか、お客さま層拡大に対応した商品編集とサービスレベルの向上などに取り組んでまいります。

中長期的にはプライベートブランド商品強化による利益率

アップや「ソリューション出店」を進め、30期連続増収増益を目指します。

ドン・キホーテグループは、引き続き「顧客最優先主義」という普遍の企業原理のもと、さらなる「企業価値の向上」と「株主価値の拡大」を目指し、これからも力の限り挑戦を続けてまいります。

沖縄県・山形県への初出店を含め、9店舗を新規出店。
国内店舗ネットワークは、42都道府県にまで拡大しました。

ドン・キホーテグループは、地域の“顔”として、商圏の経営効率化と優位性の確保を期す「ドミナント出店」と、複合商業施設からの要請でテナントとして店舗を開設する「ソリューション出店」を推進し、全国で9店舗の新規出店を実施しました。

広島県内随一の繁華街に2012年10月にオープンした「ドン・キホーテ広島八丁堀店」は、小売店の再編が進むこの地域における新たな主役として期待が寄せられています。また、11月には沖縄県初出店となる「MEGAドン・キホーテ宜野湾店」をオープンしました。さらに、12月には山形県初出店となる「ドン・キホーテ山形鳴南店」をオープンしたほか、「ソリューション出店」として、ショッピングモール「ゆめタウン長府」内に「ドン・キホーテ下関長府店（山口県）」を、「上越ウイングマーケットセンター」内に「MEGAドン・キホーテ上越インター店（新潟県）」をオープンしました。

これらの取り組みの結果、2012年12月末時点における当社グループの店舗ネットワークは、249店舗（2012年6月末時点：242店舗）となりました。

当社グループは、今後も首都圏に加え、潜在性の高い「地方都市におけるMEGA業態」「ソリューション出店」を含めたあらゆる選択肢の中から、慎重かつ大胆な店舗展開を進めてまいります。そして、「顧客最優先主義」の企業原理のもと、お客さまのニーズを先読みした店舗運営に注力してまいります。



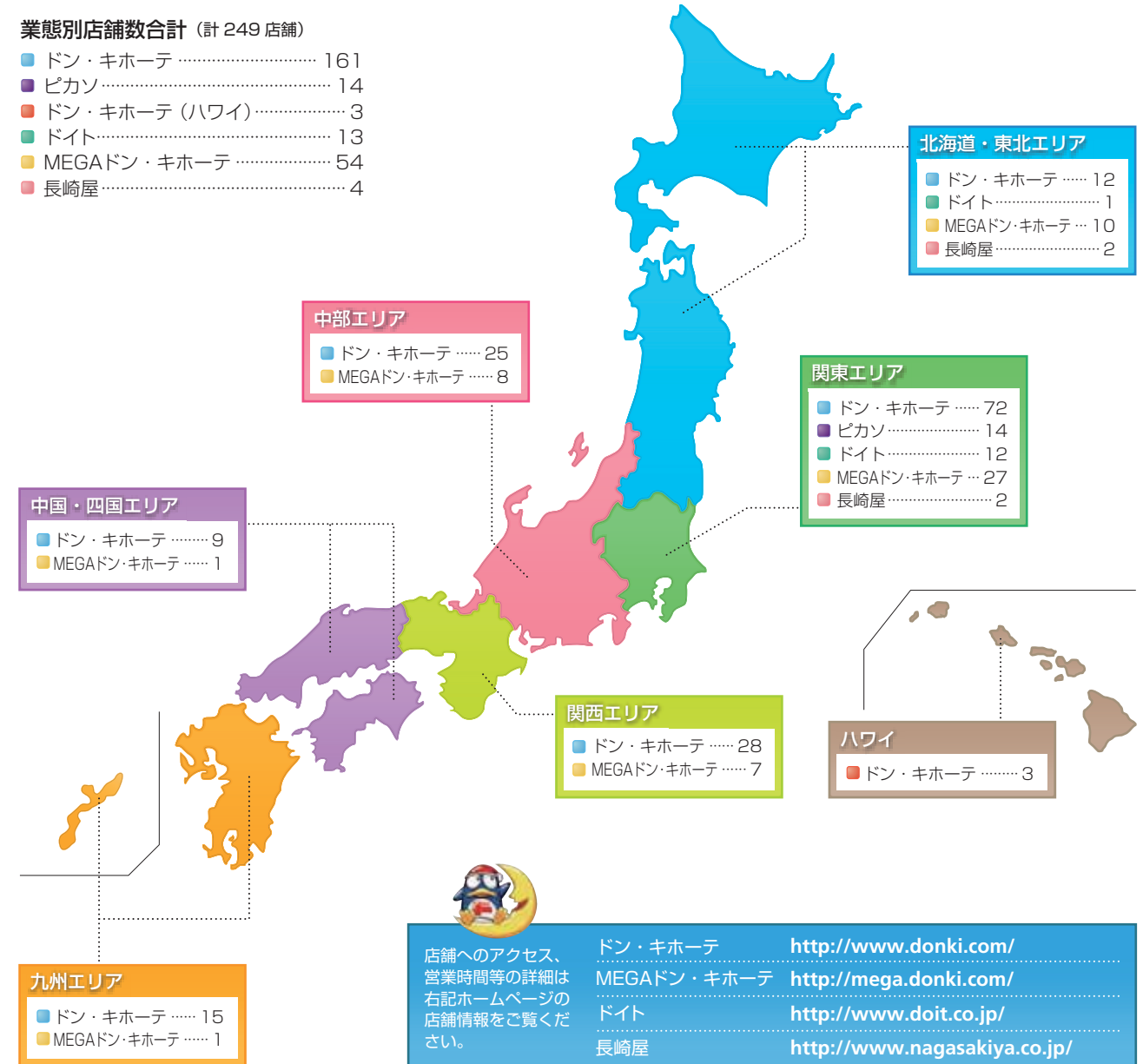
ドン・キホーテ広島八丁堀店



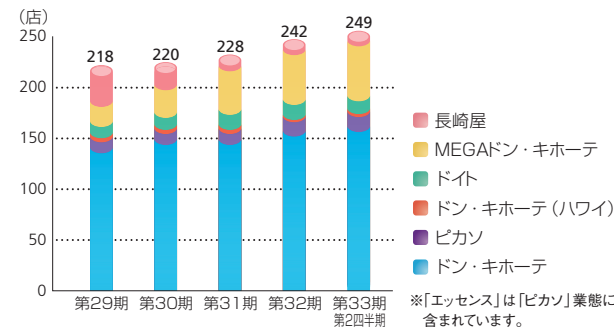
ドン・キホーテ山形鳴南店

業態別店舗数合計 (計 249 店舗)

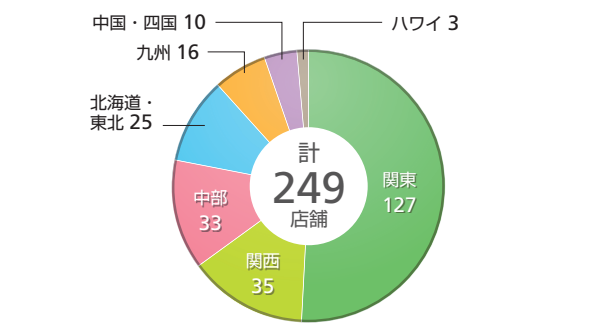
- ドン・キホーテ 161
- ピカソ 14
- ドン・キホーテ (ハワイ) 3
- ドイト 13
- MEGAドン・キホーテ 54
- 長崎屋 4



業態別店舗数推移



エリア別店舗数



店舗へのアクセス、営業時間等の詳細は右記ホームページの店舗情報をご覧ください。

| | |
|-------------|---|
| ドン・キホーテ | http://www.donki.com/ |
| MEGAドン・キホーテ | http://mega.donki.com/ |
| ドイト | http://www.doit.co.jp/ |
| 長崎屋 | http://www.nagasakiya.co.jp/ |

MEGAドン・キホーテ 宜野湾店

店内中央にガジュマルの木のオブジェを設け、沖縄らしさを表現

沖縄の人による、沖縄の人のためのドン・キホーテを目指して



今後の経済成長が見込まれる沖縄県へ初出店

2012年11月、大型商業施設が相次いで出店し活況を見せる沖縄県宜野湾市に、沖縄県初出店となる「MEGA ドン・キホーテ宜野湾店」をオープンしました。同店は、県内随一の品揃えと、驚安価格が人気を呼び、開店直後から多くのお客さまにご来店いただいています。

沖縄県は、人口が増加傾向にあることから、全国トップクラスの経済成長率が見込まれています。また、同店の出店は、地域経済と雇用創出の活性化につながるものと、地元の皆さまから熱い期待が寄せられています。

沖縄の
お客さまに、
買い物本来の
楽しさを



株式会社ドン・キホーテ九州支社長
平田 一馬

念願の沖縄県初出店が果たせたことを、大変うれしく思います。ドン・キホーテならではの、商品を探しながら楽しめるショッピングを、沖縄の皆さまにも楽しんでいただきたいと思います。そして、宜野湾店を地域に根付いたお店とすべく、今後もお客さまの声に真摯に耳を傾け、商品構成や店舗づくりに活かしてまいります。

豊富な商品を、驚安価格でお届け

宜野湾店の特徴のひとつに、現地のお客さまのニーズに合わせた豊富な品揃えが挙げられます。開店前から競合店の視察及び現地のお客さまの動向チェックをじっくりと行い、当社グループの店舗でも最大級となる4,720㎡の売場に、人気の海外ブランド品、家電製品から日用雑貨品、カー・バイク用品など約8万品を取り揃え、驚安価格で提供しています。また、独自の食文化を持つ沖縄の地域性を考慮して、泡盛や地元食材など地元メーカーの商品の品揃えを充実させた点も、お客さまからご好評をいただいています。

今後は、沖縄県内パートナー企業さまとのさらなる連携拡大を図るとともに、沖縄のお客さまのニーズに合わせた店舗づくりに取り組んでまいります。

年越しコンサートに特別協賛



当社は、文化事業に対する協賛活動に取り組んでおり、2012年の大晦日にすみだトリフォニーホール(東京都墨田区)で開催された『超! 年越しコンサート2012→2013』に特別協賛しました。作曲家の宮川彬良氏と新日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーが奏でるサウンドに、会場は大フィーバーの年越しとなりました。

海外からのお客さまの誘致活動について

当社は、海外からの旅行者の皆さまを対象に、商品の割引などの特典が受けられる「ようこそ!カード」の配布を実施しているほか、地域との共存共栄を目指す試みとして、主要な観光エリア周辺のドン・キホーテグループ店舗に加えて、ホテル、飲食店、レジャー施設の情報などを掲載した海外旅行者向けの「ようこそ!マップ」の配布も行っています。

また、お買い物をより楽しんでいたけよう、5カ国語に対応した「音声ペン」を免税対応店舗を中心に導入しています。今後も、多様化する旅行スタイルに対応した幅広いサービスの展開に取り組んでまいります。



ようこそ!カード



音声ペン

ドン・キホーテ コミュニティサイトのご紹介

当社は、Facebook や Twitter などを活用して、売場の様子や新商品の情報を写真付きの紹介文でご紹介するなど、お客さまとの双方向コミュニケーションの拡充に取り組んでいます。また、各媒体を通じて店舗に寄せられるお客さまからの貴重なご意見・リクエストを無駄にすることなく即座に改善し、お客さまに喜んでいただける、魅力あふれる店舗づくりに役立てています。

※ Facebook は、米国及び他の国で登録された Facebook, Inc. の商標または登録商標です。

※ Twitter は、Twitter, Inc. の登録商標です。



毎日がちょっと便利に、ちょっと楽しくなる

情熱価格

情熱価格こだわりの新商品が続々登場!

香り7色の光で癒やされる

アロマディフューザー NIJIRO AROMA (ニジイロアロマ) 2,950円

近年ドン・キホーテで人気の高いアロマディフューザー。3段階の加湿機能のほか、LEDレインボーイルミネーションで光の演出も楽しめます。



ムゲンクラッカー 970円

繰り返し何度も使えて、ゴミが出ないクラッカー。キーチェーン型で携帯に便利なので、日常のちょっとしたお祝いに大活躍です!

どこでもパーティー!

クセになるおいしさ

ムラオカの梅しば 498円

梅しばの元祖ムラオカとのコラボ商品です。厳選された生梅を素材とし、適度な塩味とカリカリの食感がクセになります。280gと大容量でお得な商品です。



まるで雲の上のような座り心地

クラウドフィットラグ

185cm×185cm (約2畳) : 5,980円
90cm×180cm : 2,990円
50cm×180cm : 1,790円
50cm×120cm : 1,290円

凹凸低反発ウレタンを使用し、マットレスのようなボリューム感とクッション性を備えたラグです。落ち着いたカラーリングのため、リビングの演出にも最適。また、防音性にも優れ、お子様がいるご家庭にもおすすめです。



毎日おしゃれ♪

3wayヘアアイロン 2,950円

ストレートヘアアイロン、カールアイロン、ロールブラシと1台3役のヘアアイロン。これ1本で、さまざまなヘアスタイルを楽しめます。



ピンクリボン対象商品 Pink Ribbon

アサヒビールと共同開発!

情熱価格

りんご100%のスパークリングワイン “ニッカシードル” 『ふんわり甘い りんごの恵み』

新発売!



2012年11月より、アサヒビール株式会社(製造ニッカウヰスキー株式会社)と共同開発で、シードル『ふんわり甘い りんごの恵み』248円を、全国のドン・キホーテグループ店舗(一部店舗を除く)にて販売し、たくさんのお客さまにご好評をいただいています。

※当商品は、2012年に収穫したつがるりんごを使用しているため、2012年~2013年の数量限定商品となります。

ふんわり甘い りんごの恵み (2012年11月28日発売)
■品目: 果実酒(発泡性) ■価格: 248円(税込)
■内容量: 200ml ■アルコール度数: 2.0%
■ワインタイプ: ライトボディ/やや甘口
■製造: ニッカウヰスキー株式会社弘前工場 (青森県弘前市)

ココがポイント!

- 糖分量・香料・着色料を一切加えない、りんご100%のスパークリングワイン
- 甘みが強く、まろやかな「つがるりんご」と、酸味が強く、香りが華やかな「紅玉りんご」の2種類のりんごのうまみを凝縮

パートナー様より

こだわりの自信作、ぜひご賞味ください!

シードル『ふんわり甘い りんごの恵み』は、ニッカシードルから初となるコラボ商品です。甘みが強くまろやかな味わいの「つがるりんご」と、酸味が強く華やかな香りが特長の「紅玉りんご」を、糖分・香料・着色料を一切加えず、りんご100%の低アルコールのスパークリングワインに仕立てました。甘酸っぱく爽やかな味わいは、食前酒だけでなく、食中酒としても、お楽しみいただけます。弘前工場従業員全員の思いの詰まった自信作ですので、ぜひご賞味ください。



ニッカウヰスキー株式会社 弘前工場長 鈴木長成様

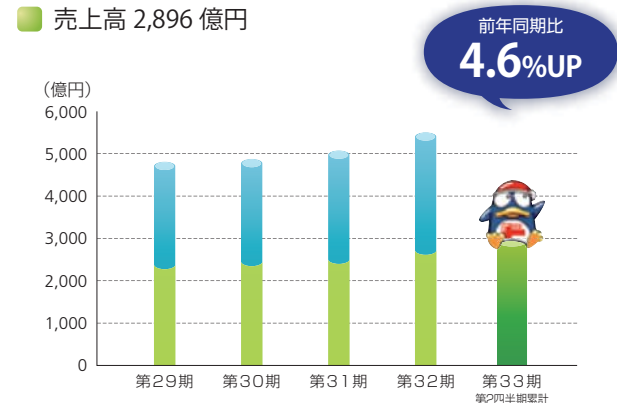
青森の自然の恵みをたっぷり浴びて育ったりんごたち



自然のうまみをそのままに、高い技術で製造される『ふんわり甘い りんごの恵み』の製造ライン

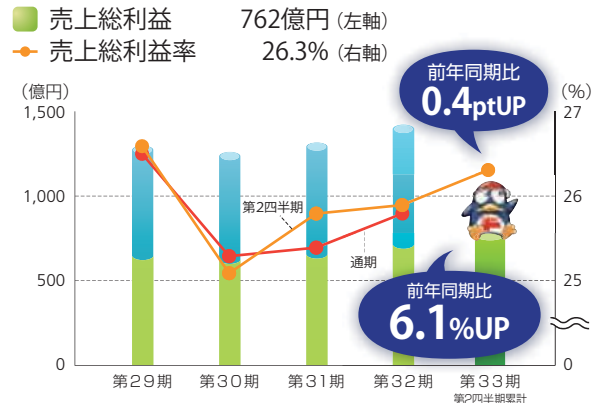
※9~10ページの掲載商品は、店舗によって取り扱いがない場合もあります。※商品価格は、2013年2月28日現在の税込価格です。時期・販売店舗によって異なる価格となる場合があります。あらかじめご了承ください。

売上高



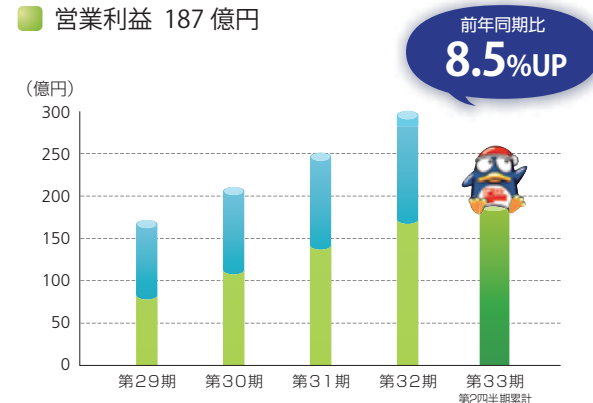
前期の反動や消費マインドの低迷などマイナス影響が続いた中、攻守取り交ぜた営業力を駆使し、リピート率が高い女性客や中高年齢層向けの商品提案を積極的に行った結果、売上高は2,896億円(前年同期比4.6%増)となりました。

売上総利益 / 売上総利益率



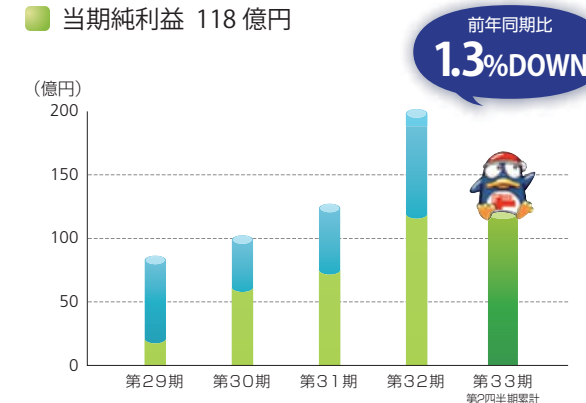
PB 商品をはじめとする採算性の良い商品によるセールスマックスを強化した結果、売上総利益は762億円(前年同期比6.1%増)となりました。売上総利益率は、前年同期比0.4ポイント改善し、26.3%となりました。

営業利益



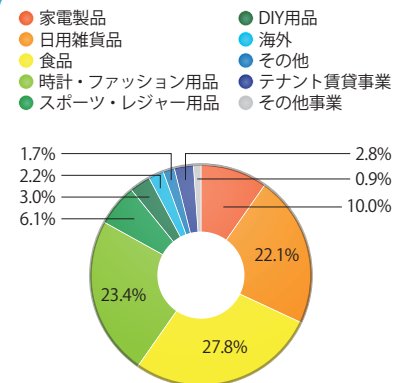
営業力でお客さまの信頼と支持を強固なものにするとともに、安定したコストコントロールにより販管費増加額を抑制し、営業利益は187億円(前年同期比8.5%増)となりました。

当期純利益



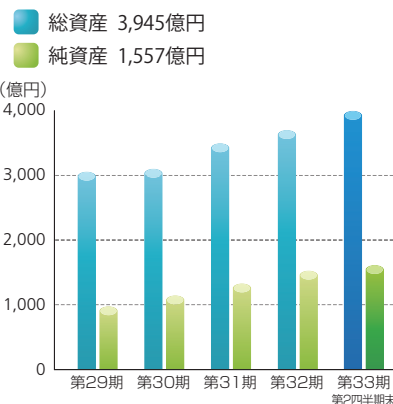
前第1四半期に特別利益を計上した反動により、純利益は118億円(前年同期比1.3%減)となりましたが、通期予想では1.3%の増益(201億円)を見込んでいます。

商品分類別売上高構成比



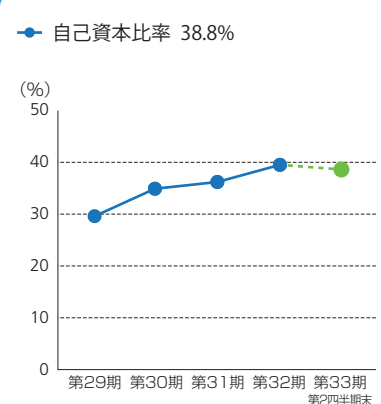
定番系商品が堅調な「食品」や「日用雑貨品」が安定的に推移。「時計・ファッション用品」が高い伸び率を見せ、全体をけん引しました。

総資産 / 純資産



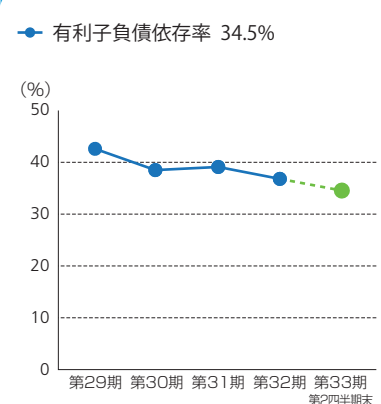
総資産は有形固定資産が158億円増加したことなどにより、前期末比318億円増の3,945億円、純資産は前期末比99億円増の1,557億円となりました。

自己資本比率



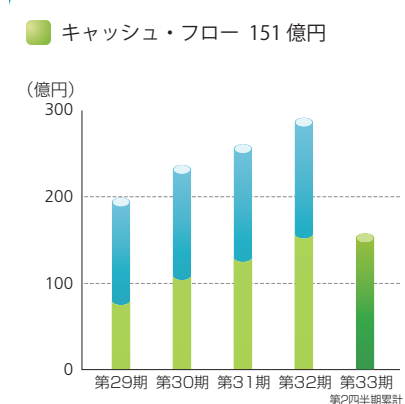
前期末比0.7ポイント減少の38.8%となりましたが、前第2四半期末比は3.3ポイント改善しており、財務的な安定性や健全性は確保されています。

有利子負債依存率



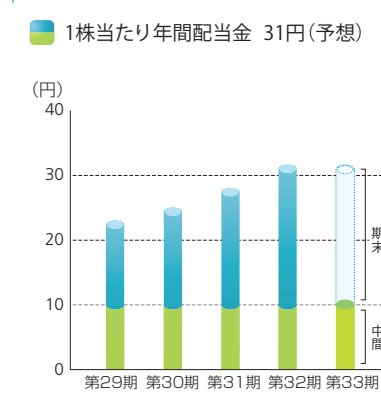
有利子負債依存率は前期末比2.3ポイント低下し、34.5%となりました。

キャッシュ・フロー



純利益、特別損失がともに減少した結果、当第2四半期のCFは151億円となりました。
※キャッシュ・フロー＝純利益＋減価償却費＋特別損失－配当金

1株当たり年間配当金



当期の中間配当金は1株当たり10円とさせていただきます。期末配当金は1株当たり21円、年間配当金は31円を予定しています。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (2011.7.1~2011.12.31) | 当第2四半期連結累計期間 (2012.7.1~2012.12.31) | 増減率 |
|------------|---------------------------------------|---------------------------------------|-------|
| 売上高 | 276,939 | 289,644 | 4.6% |
| 売上総利益 | 71,810 | 76,186 | 6.1% |
| 販売費及び一般管理費 | 54,592 | 57,513 | 5.3% |
| 営業利益 | 17,218 | 18,673 | 8.5% |
| 経常利益 | 16,451 | 19,075 | 16.0% |
| 四半期純利益 | 11,935 | 11,777 | ▲1.3% |

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| | 前期末 (2012.6.30) | 当第2四半期連結会計期末 (2012.12.31) | 増減額 |
|-------|--------------------|------------------------------|--------|
| 流動資産 | 138,816 | 154,118 | 15,302 |
| 固定資産 | 223,835 | 240,357 | 16,521 |
| 資産合計 | 362,651 | 394,475 | 31,823 |
| 流動負債 | 120,243 | 124,148 | 3,905 |
| 固定負債 | 96,673 | 114,653 | 17,980 |
| 負債合計 | 216,916 | 238,801 | 21,885 |
| 純資産合計 | 145,735 | 155,674 | 9,939 |

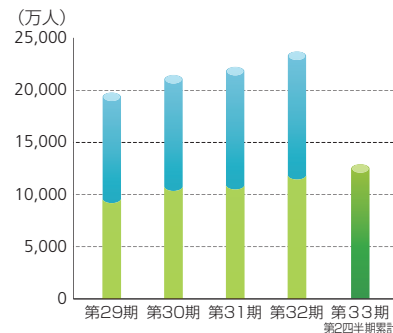
四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (2011.7.1~2011.12.31) | 当第2四半期連結累計期間 (2012.7.1~2012.12.31) |
|------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 18,365 | 28,325 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | ▲30,216 | ▲15,486 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 13,451 | 653 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 31,814 | 43,365 |

お買い上げ客数

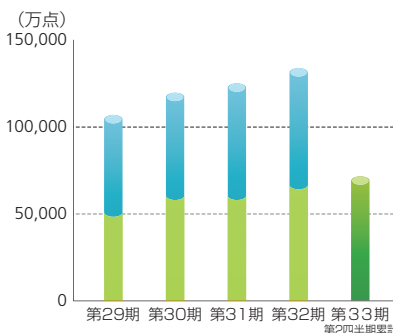
お買い上げ客数 1億2,469万人



当社グループ店において、当第2四半期累計期間にご利用いただいた総客数は1億2,469万人を数えました。

販売商品点数(国内)

販売商品点数 6億9,676万点



当社グループが当第2四半期累計期間にお客さまにお届けした商品点数は6億9,676万点となりました。

会社の概況

商号 株式会社ドン・キホーテ(英文名: Don Quijote Co., Ltd.)
 事業内容 家電製品、日用雑貨品、食品、時計・ファッション用品、スポーツ・レジャー用品及びDIY用品等の販売を行うビッグコンビニエンス&ディスカウントストア
 本店所在地 東京都目黒区青葉台二丁目19番10号(〒153-0042)
 TEL. 03-5725-7532 FAX. 03-5725-7322
 設立年月日 1980年9月5日
 資本金 196億64百万円
 従業員数 2,592名

役員

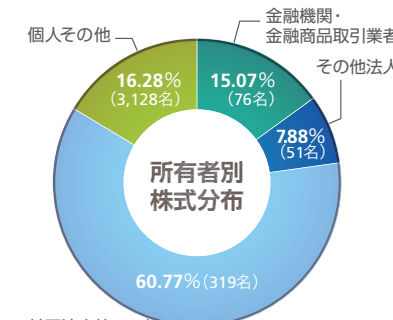
| | |
|---------------|-------|
| 代表取締役会長 兼 CEO | 安田 隆夫 |
| 代表取締役社長 兼 COO | 成沢 潤治 |
| 専務取締役 兼 CFO | 高橋 光夫 |
| 取締役 兼 CIO | 大原 孝治 |
| 取締役 | 吉田 直樹 |
| 常勤監査役 | 大年 康一 |
| 常勤監査役 | 井上 幸彦 |
| 監査役 | 福田 富昭 |
| 監査役 | 岩出 誠 |
| 監査役 | 本郷 孔洋 |

(注) 常勤監査役の大年康一氏を除く監査役の4氏は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役です。

株式の状況

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 234,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 77,210,180株 |
| 自己株式の総数 | 1,244株 |
| 株主総数 | 3,574名 |

(注) 株主総数は前期末と比較して390名減少しています。



(注) 自己株式(1,244株)は、個人その他に含まれています。

大株主

| 株主名 | 持株数(株) | 出資比率(%) |
|---|------------|---------|
| 安田 隆夫 | 10,746,000 | 13.92 |
| ラマンチャ | 9,000,000 | 11.66 |
| 株式会社安隆商事 | 4,140,000 | 5.36 |
| ザ チェース マンハッタン バンク 385036 | 3,548,200 | 4.60 |
| ビービーエイチ フォー フィデリティ ロー プライズ ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ) | 3,100,000 | 4.02 |
| メロン バンク エヌイー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション | 2,619,138 | 3.39 |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225 | 2,611,610 | 3.38 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)* | 2,574,300 | 3.33 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)* | 2,439,100 | 3.16 |
| ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ フィデリティ ファンズ | 1,821,900 | 2.36 |

(注) 出資比率は自己株式(1,244株)を控除して計算しています。*の持株数には、信託業務に係る株式数が含まれています。当社が実質所有株式数を確認できる株主については、その実質所有株式数を上記大株主の状況に反映させています。



詳細は当社ホームページをご覧ください。

ドンキ IR

検索